

藤沢

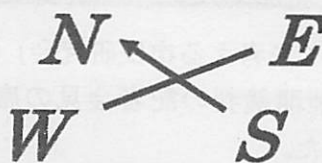
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2014年1月1日

第236号



- 主・拡大し続けるネオニコ系農薬汚染
な・小児甲状腺がん 58 人、発生率 145 倍
記・フェリス女学院大学エコキャンパス活動
事・放射能測定値 ・武田薬品新社長が外国人に

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

藤沢エコネット20歳

「人間が住むにふさわしい『日本』」を！

20年前の1994年、藤沢エコネットはごみ問題研究会から発展して生まれました。高度経済成長による列島改造政策で荒れた国土に「人間が住むにふさわしい環境都市藤沢」の実現を目指して発足、「藤沢市環境基本条例」市民シンポジウムと陳情をおこないました。環境団体の横のつながりをつくろうと「藤沢エコネット展」を毎年開催、現在の「ふじさわ環境フェア」に繋がりました。

大量消費、大量廃棄の世の中による、大量のごみ、大気汚染、土、川、海の汚染、そして環境ホルモンが問題になる中、2000年に荏原ダイオキシン事件が起きました。猛毒のダイオキシンが長年引地川に垂れ流されていた事実が発覚し、藤沢エコネットの呼びかけで対策会議が発足、母乳、血液検査が実現、国のダイオキシン底質規制に繋がりました。

その後ごみ有料化問題、気候変動による災害を起こす地球温暖化問題、生物災害の危険をはらむ武田薬品新研究所問題、世界最大の原発事故・福島と環境問題が続出し、学習会、対策会議と息つく暇もありません。情報交換の場として毎月発行する藤沢エコネットニュースも休むことなく20年続けてまいりました。

今までは未成年、これから大人になれるかどうか、これからが正念場と考えています。

2014年、激動の年が明けました。

政権が変わり、一挙に最大の環境破壊である戦争への道が開かれようとしています。

今までのように環境団体は環境を、平和団体は平和をと、各分野で活動するだけでは現在の危機に太刀打ちできそうもありません。

環境を守りたい人、平和を守ろうとする人、家庭を守ろうとする人すべてが立ち上がって手をつなぎ、戦争への危険な道を閉ざして、「美しい日本」ではなく、平和で豊かな「人間が住むにふさわしい『日本』」を築くために力を合わせようではありませんか。

(青柳節子)



富士山を仰ぐ新春の鵠沼海岸 (矢板氏提供)

小児甲状腺がん 58 人、発生率 145 倍

「甲状腺がん内部被ばくを考える市民研究会」の川根眞也さんは福島集団疎開裁判の記者会見の席上で、「声明」を発表しました。

「日本政府に小児甲状腺がんの子どもたちを救うことを求める声明」

- ・日本政府は福島をはじめ東日本の小児甲状腺がんの子ども達のスクリーニング検査を国の責任を持って行え。
- ・福島県のみならず東日本の子どもたちの甲状腺超音波検査を行え。
- ・手術を受けた子どもたちと保護者に将来のリスクを説明し、子どもたちの心理面でのサポート体制を構築し、生涯にわたる医療保障を行え。
- ・医師だけでなく、疫学者、児童心理学者、公害問題を追求する環境学者も含めた専門家の調査・研究組織を設立し、現在起きている事態の分析と今後起きうる健康被害の予想を行わせ、提言を行わせよ。

福島県の子どもたち 58 人が小児甲状腺がん及び疑いであると福島県の第 13 回県民健康管理調査検討委員会が 11 月 12 日に発表した。この発表では小児甲状腺がんの発症率は 10 万人あたり 28.9 人となる。現時点で発生率は平常の 145 倍となる。これまで発症率は 10 万人当たり 0.1 人か 0.2 人であると福島県立医大の鈴木真一教授は語ってきた。福島県など人口密度の高さを考えると 1000 人の規模で小児甲状腺がんの子どもたちが出る危険性がある。

県民健康管理調査は福島県立医大の委託事業であり日本政府が責任を持っていない。一医大に責任を任せろのではなく、日本政府が責任を持って行うべきである。

福島の子どもたちには、甲状腺がんがリンパ節に転移し、半分または全部のリンパ節を摘出した子どもたちが複数いる。その一方で、福島県立医大の医師たちは、小児甲状腺がんの手術を受けた子どもたちに、結節の大きさや、どこにあったのか、再発の危険性はあるのかなど患者として当然知らされるべきことを いっさい伝えていない。



拡大し続ける ネオニコ系農薬汚染

今年 5 月に EU ではミツバチ大量死につながるネオニコ系農薬の一部全面使用禁止に踏み切りました。ミツバチは花粉を運び、果実を結実させる大切な生き物です。農業は健康に悪影響を与えるため、残留基準値が決められています。エコネット会員 0 さんの紹介で、月間「選択」12 月号に「世界も呆れる『基準値緩和』の暴挙」の副題でネオニコ系農薬汚染が拡大している記事が掲載されたので紹介します。

9 月に玉川学園が販売する「たまがわはちみつ 有田市ミカン蜜」から残留農薬の基準値 (0.01ppm) の 5 倍のネオニコ系農薬が検出され、自主回収する騒ぎがあった。そのプレスリリースは現行基準が厳しすぎることをにじませるものであり、未だ原因調査結果がでていない。

養蜂業界では最近残留農薬の増加が全国的に急増しているとの見方が広がっている。

背後に EU の規制強化で住友化学や三井化学など化学メーカーの農薬輸出量が減少した為、国内向けに販売強化を図っていて、現行基準を緩和させたい動きがある。

それに呼応するように、あろうことか厚生労働省はネオニコ系農薬の「クロチアニジン」の残留基準値緩和に向け、10 月にパブリックコメントを募集開始、11 月に締め切り、今後半年の審議で基準緩和する予定である。

このクロチアニジンは EU で暫定的ながら全面使用禁止になった 3 種のネオニコ系農薬の 1 つである。

11 月開かれた国際自然保護連合 (IUCN) の専門家委員会でネオニコ系農薬の人体への影響を発表した平久美子医師は「日本のお茶を大量に飲む日系人の中に農薬中毒症状の人がいるとの情報を得た。・・・『1 日許容摂取量』や『急性中毒量』は各国共通なのに、農産物の残留基準は欧州や米国に対し日本は 1 桁以上高い。」

一方、ネオニコ系農薬の悪影響を研究・調査する研究者や水田近くの養蜂業者が被害を発表しようとする、「科学的データが乏しい」とかストップがかかったりするようになった。

国民の健康に重大な悪影響を与えかねない基準値緩和を進める厚労省、背後の農薬メーカー、その代弁者の御用研究機関は、まさに「国民の敵」というほかはない。

——健康被害より企業の利益を優先する国の政策をここにもまた見る思いです。

(青柳節子)

ふくしまっ子…「チラシ大賞」を受賞！

「福島の子どもたちとともに・湘南の会」は福島原発事故の影響で放射線量の高い福島県南相馬市の親子を、夏休みと春休みに湘南でおもいきりリフレッシュしてもらうために、招いています。今年も4回目のリフレッシュを3月に予定し準備を始めました。

3月26日(水)、27日(木)は江の島のかながわ女性センターに宿泊し自由に遊んで地元の方との交流もします。28日(金)、29日(土)は横浜市青葉区のこどもの国で過ごし30日に福島へ帰ります。

去年は桜満開の時期でとてもきれいでした。

今も放射能の影響を気にしながら生活している福島の子どもたちは、親子ともに運動不足になりがちです。さまざまなストレスを抱えての生活です。私たちは少しでも解放された気分になっていただけるよう工夫しながらお招きしたいと思っています。

さて、私たちが普段、相談したり活動の拠点となっている藤沢市市民活動推進センターの「NPOのためのクリスマス交流会」のイベントで「チラシ大賞」が発表され、みごと我が会のチラシが選ばれました。単色部門26点の中から「センスいいで賞」という賞をいただきました。とても励みになります。

また推進センターからは寄付金の上に、明治製菓のお菓子を福島の子どもたちに役立てて、とプレゼントしていただき、また、いつもアドバイスやご支援をいただきとても感謝しております。

春のリフレッシュの準備はこれからです。

どうか募金と、ボランティア等に皆さまのあたたかいご援助をお願い致します。(KA)



フェリス女学院大学のエコ活動

フェリス女学院大学エコキャンパス研究会の活動を紹介し、神奈川県自治体学校での特別報告として報告されたものです。若い世代が取り組む活動で画像によりすばらしい報告に感動しました。

大学のある緑園都市キャンパスでは環境保全のために活動し「文系の女子大だからこそできる環境への取り組みは何か」を考え、学内や地域との関わりでユニークな活動をしています。部員は40人ほど学部をこえた自立型で毎週集まり活動。今までに全国大学生環境活動コンテスト等、2013年には第3回 横浜学生環境活動コンテストで入賞しました。

ハイブリット街路灯 正門脇にあり来訪者の目印に。風車と太陽光との融合発電によって街路灯を点灯。

エコ・ビジョン 新エネルギーの発電量や環境要因、さらには体育館屋根や壁面の温度環境などをリアルタイムに計測・表示するシステムを導入し、環境教育と研究に活用しています。

ピオトープは地域との連帯で管理にあたり、緑園キャンパスの地域住民との共同作業を行い、地域と大学とのコミュニケーションの場としています。

風力発電 105年ぶりに本学の愛称「赤い風車のフェリス」を再現し、2005年1月に2.5kw規模を設置。緑園都市駅からも見ることができる。

図書館(外壁) 窓のひさはしは廃材を利用した外装タイルを使用、環境共生型の図書館を実現しています。

図書館(内装) 木製のカーテン

雨水を利用した噴水 屋上に降った雨水が集められ殺菌等をおこない、トイレ用水や屋上緑化の灌水に使用。噴水も雨水で地下タンクに戻り循環しています。

屋上緑化 緑化することで、断熱性能の向上と日射の軽減を実現。学生や野鳥の憩いの場となり、開放感のあるスペースとなっています。

トイレ用水や屋上緑化の灌水に利用する雨水のろ過装置、ポンプ。体育館の空調 真空貯湯型(80リットル) 体育館のシャワー温水利用。他にもマイボトル用飲料販売機、フェリスオリジナルのタンブラー販売など。学生たち皆で新しい企画を持ち寄ったり、意見を出し合ったりしながら楽しく活動しているそうです。(日比 遥)

放射能測定値

冬に散策したい公園を調べました。2012年12月末

測定 (HOROBA Radi)	単位 ($\mu\text{Sv/h}$)
引地川親水公園	北入口 0.048 (地上5cm)
	中央の藤棚近く 0.031 (50cm)
	中央の藤棚近く 0.038 (5cm)
	川原の草むら 0.048 (50cm)
	川原の草むら 0.051 (5cm)
船地蔵公園	中央の芝生上 0.040 (50cm)
	東側縁の入口 0.062 (50cm)
	東側縁の入口 0.089 (5cm)
二番橋公園	中央 0.029 (50cm)
	中央 0.034 (5cm)
	タイル張り上 0.054 (5cm)

同じ公園でもいつも暗くじめじめしている所やタイル張りのところ等が高めでした。

武田薬品が新社長に外国人を登用

昨年11月、武田薬品（以下武田という）は社長交代を決め、英国大手のグラクソ・スミスクラシン社のクリストフ・ウエーバー氏をヘッドハントし、社長に据えると発表。武田は2003年長谷川氏が社長に就任して以来、次々と外国企業を買収し、買収金額は武田の年間売り上げ高1.5兆円を遙かに超える2兆円となっている。この結果、従業員の数も2/3が外国人で、また役員数も半数が外国籍の人間であり、今回社長までもが外国人がなろうとしているのである。

問題は、このように多国籍企業化した武田が、どのように湘南研究所の安全性を守かである。儲け本位の多国籍企業化した武田が、安全よりも利益、安全を軽視した新薬開発に走らないかである。1昨年起こったバイオ排水漏えい事件では、単に外国企業に監査を求めたと言うだけで名前も公表せずおざなりな解決しかしてこなかった。現在湘南研究所の所長はポール・チャップマン氏という外国人で在り、新社長までもが外国人が就任しようとしている中で、結果だけを求められ、安全が軽視されることの無いよう武田の安全問題に対する市民監視が必要となってきた。武田問題対策連絡会としても、武田の安全問題に付いて、動物実験問題も含め規制が甘い国内基準に対し、規制の厳しいグローバルスタンダードで行くのかどうか、外国人社長に見解を求めて行く必要がある。

（小林麻須男）

ECONET INFORMATION

「誰のためのTPP？」～自由貿易のワナ～

DVDができました、ご利用下さい

TPPに参加した日本、自分たちの暮らしはどのようなのか？ 監督：土屋トカチ 聞き手：清水由紀奈（日大大学院生）1回10,000円

申し込み：アジア太平洋資料センター

Tel 03-5209-3455 fax 03-5209-3453

“笑い”でつながる世界

地上に平和を、人々に笑顔を

講演 落語家 笑福亭鶴笑さん

2014年1月25日（土）14:00-15:30

会場：あーすぶらざ5F（JR 根岸線本郷台駅すぐ）

無料先着 120名

問合わせ：045-896-2121



藤沢エコネットから

昨年10月号2ページ上段の記事について加筆します。内容が「ママレボ通信」に載せた記事を引用したのですが引用とは分からないような記事になってしまいましたので訂正しおわび申し上げます

会計簿記学習会

決算方法の基本など学んでみませんか。

とき 1月10日（金） 24日（金）

いずれも17:00-18:30 受講料500円程度

市民活動推進センターにて

会費・購読料の納入は

ゆうちょ銀行（9900）店番（029）

当座預金 0046501 ㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭㊮㊯㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

（従来用紙の方法も利用できます）

会員募集＝年会費・購読料→3000円

事務局会議1月16日（木）14:30～

推進センターにて

《編集後記》新年おめでとうございます。お正月のお料理も堪能できたことだろう。去年の暮れに「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録された。日本の四季折々の風土に合った食文化は年中行事と関わって育まれた。自然豊かな日本だからこそ多様な食材が用いられ、素材の味わいを活かす料理が発達し、理想的な栄養バランスで発展してきた。まだある自然を壊さず大切にしたい。

（H）